

Title	占部百太郎著 英国憲法政治
Sub Title	
Author	間崎, 万里
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.2 (1915. 2) ,p.219(113)- 222(114)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150201-0115

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

批評と紹介

ロックス氏著『英國財務制度』

Henry Higgs the Financial System of the United Kingdom pp. X. + 218. London: Macmillan 6s. net.

ヘンリー・ロックス氏の學名は先年公刊せられたる小著重農學派論に依て、世人の記憶する所なり。氏は其後郵務省の官吏と爲り、近年大蔵省の吏務に執掌し、學問上の事業と關係せざるに至れるが、今回『英國財務制度』を著しし財務研究者に有用なる參考書を供へたり。本書は其分量より云へば本文百頁に過ぎざる小冊文なりと雖も、其實質に於ては、貴重なるものあり。由來英國の財務制度に關する規定たる、千八百六十六年の國庫并に會計検査部法に統一せられたるもの多しと雖も、此以外に律令あり、命令あり、慣例ありて、現行制度の細目に通曉するは、英國人にして尙ほ困難なるの嘆なき能はず、況や外國人に於てをや。然も從來英國の經濟學者又は財政學者にして、此點に於て綜合的述作を試みたる者なく、纔にトッドの英國議院政治、アンソンの英國憲法等に

依て、斷片的知識を收むるに止まれるのみ。ロックス氏は本書を分ちて前後九章とし、豫算の編成并に提出、固定基金并に國庫、議院に於ける經費要求書、豫算并に財政法案、歳入見積書、會計検査支拂命令官、決算、大蔵省、國債事業公債并に特別會計等に就て、序を逐うて説明し、附録として、重要法令并に雛形を添付すること十四項の多きに及べり。書物の性質上事實の説明に重きを置き、制度の得失に涉れるものなしと雖も、一冊を通讀せんが、紛糾錯綜を極むる英國財務制度は忽にして明瞭と爲り、其一斑に通ずるを得ると共に、英國の財政が堅實なる所以の、制度の善良なるに基くもの少なからざることを知るを得べし。並に本誌に於て紹介したるマレット氏の英國財政二十五年史と併せ稱す可き有益の著作なることは吾輩の敢て保證せんとする所なり。(堀江歸一)

阿部秀助著『獨逸對列強の抗爭』

大正三年十一月 富山房發行
四六版一七八頁定價金貳拾錢

富山房『時事叢書』の第十篇である。第一章「新獨逸の意義」にては專ら獨逸のマイト イズ ライト主義の由來を説き、第二章「新獨逸の外交」に於て獨逸の外交が英の夫れに比し露骨にして理屈詰め流れ、爲めに世界の同情を失ふ所以を叙し、第三章「獨逸現内閣の二元的傾向」にては獨逸聯邦の區々たる

次第からカイセルを中心とする官僚的武斷派と議會を中心とする政黨とが殖民政策や軍備擴張に就て抗爭する状態を述べ、第四章「新獨逸の敵」は獨逸と英吉利の海軍競争を論じ、尙第五六の二章に於て「露國財政の復活」及び「歐洲の大戦役と獨逸の態度」に説き及ぼして居る。固より二二八頁の小冊子ではあるけれど、時局を了解する上に取て切要なる知識に充實して居る點は流石に交戦國殊に獨逸の國情に對する蘊蓄の深い人の手に成つたものと頷かれる。文章は流暢なる口語體で、十餘の挿畫をへれば何人にも難解の恐れはあま

30 (占部)

レキニス著『國民經濟學汎論』改訂第三版
W. Lexis, Allgemeine Volkswirtschaftslehre. Zweite verbesserte Auflage.

本書が「トインナー」發刊の現代人文叢書の一部として世に現はれてより未だ久しからざるに既に第二版を重ねるに至りしは、主として其叙述の透徹せる點にあり、即ち著者は從來、經濟學者間に幾多争論の中心となりし國民經濟學研究法を本書の結論に於て極めて簡潔に然かも明快に論評せり、例者、演繹的に經濟法則を求めんとする純理的、抽象的研究法と經濟現象を吾人の思索其者に依らずして寧ろ實際的條件によりて究明せんとする現實的方法との差を論じて、結ぶに現時の資

本的生産と最も發達せる貨幣經濟の基礎に築かれたる經濟現象を充分完全に理解することは一般の經濟的社會的影響の真相を正當に批判するに最も必要なる根本的條件たることを以てせり、又た同じく結論中に包括せられし國民經濟の發展に關する説明の如きも僅々十五頁を以て能く現時に於ける國民經濟其物を明かにせる著者の手腕に敬服せざるを得ず、次に本論に比し見る可き處は現時の經濟組織に於て欠ぐ可からざる手段たる貨幣、信用銀行に對する著者の説明となす、更に人口論に對する彼れの説明も亦た吾人の科學的良心を満足せしむるものあり、蓋、食料品及有用礦物の生産能力は制限せられ、殊に鐵、石炭等に至りては一度消費せしものは之れを補充すること能はず、即ち専門家の調査によれば世界に於ける鐵其者の命脈は今より僅かに六十二年間に於て、石炭の如きも百五十年乃至二百年を出でざる可しと云ふ、然るに人口の増加は一面に於て之れが需要の増加たるを以て、按に吾人々類の運命に關する經濟的大問題を惹起さざるを得ざるなり、斯くの如きは將來の經濟學が採りて以て研究す可き好個の問題たり。(阿部生)

占部百太郎譯『英國の憲法政治』
△菊判布製四八四頁△代價壹圓五十錢
△慶應義塾出版局發行

凡そ五大陸上國を建て稱を争ふもの尠からずと雖も、自由

恩潮の普及は益政黨政治の機運を進めて、支那土耳其の老大國は申すに及ばず、聯邦殖民地の末に至る迄多少その影響を蒙らぬものはない。嘗て吾人が政黨内閣制を有せざるは吾人の大なる幸福なり」とビュロー公をして叫ばしめた官僚政治の本場獨逸に於てさへも既にバイエルンの如きは政黨内閣制を實施するに至つた。廿有餘年の普憲法政治を採用し、兎角の議論の絶えなかつた我國に於ても、今や一部少數の反對者を除いては政黨政治は已を得ざるの世界の趨勢である事を悟るに至つた、されば苟くも政治を口にし憲法を論ずるものは何はば置き憲政の祖國たる英國の制度を知悉すべきである。此際本書の譯述は學界の得易可もざる賜である。

著者マリオット氏は牛津大學ウィズナー・カレッジの近世史及び政治學の講師であつて、極めて明快な頭腦を有する人であるが、本書の著述に際しては有名な斯界の碩學故アンソンと親しく審議を重ね或はその注意を受けて之を完成したもので、痒い處へ手の届く様に極めて普遍的に國王内閣國會裁判所より地方行政殖民地聯邦及び全英帝國の組織に亘つて英國憲法の實際的運用を説明し、且つ絶えず憲法の歴史に遡つて之が實例を示して、その進化の状態を明にしてゐる。故に本書は秩序の整然たる點を以てせば一部の憲法論であつて、且つその歴史的に之を證する處を以てせば一部の英國憲法史とも稱すべきである。豈しこれ本書の最も特色とする處

であらう。

試みに英帝國の組織即ち聯邦殖民地聯邦を説ける最後の一章を開かんか、廣大無邊なるその殖民地の政體を大別して第一自治の大聯邦國、第二五領殖民地、第三兩者の中間に位置し各史實を基礎にしてその進展の経路を説いて誤らず、往々意見を挿みて「議院政治即ち内閣責任制は著しき眞價を有し獨裁政治亦然り、この中間にある政府は多くの缺陷を有す」(四五九頁)と論じ、或は「濠洲聯邦の内閣員は夫れく行政各部の長官にして他に比類なき憲法條規に依りて必らず立法部の議員たらざるべからず」との規定を指摘して「その憲法上の慣例を法律に規定したるは興味あるのみならず、その内閣制度が聯邦制度と融和すべきや否やは最も議論の餘地ある點にして凡て憲法を研究するものが熱心に濠洲政治の將來に注意する所以なり」(四六九頁)と教へたる如きその全般を察するを得ん。

多年西洋史の研究と教授に従事し、先般英國に留學して專ら英國憲法の實地研究を遂げられた占部教授が斯かる名著を擲んで權威ある翻譯を試みられたのは豈し本書の眞價を大ならしむるものであらう。近時の乗合馬車著述に嫌焉たる自分には本書の出版に多大の敬意を表するものである。今迄「英國の憲政を知るには何を讀むべきや」の度々の質問に對し「著者に苦しまれた教授先輩も今や安心して「先づ本書を讀め」との贈辭を惜まれないであらう。(まさき)

前號(第九卷) 第一號 目次 (大正四年一月號)

論說

穀價調節論を評す

法學博士 河津 暹

不景氣の由來及び効果

イロントフイフ 氣賀 勘重

歐洲戰亂期に於ける英佛大
小農制度に關するアーサー
ヤングの研究(其二)

法學博士 福田 徳三

獨逸と穀物關稅問題

慶應義塾 阿部 秀助
大學教授

雜錄

新西蘭に於ける近時の勞働
紛議

商學士 松崎 壽

英國法制上警察權の限界
經濟學上より觀たる戰爭

村田岩次郎
高城仙次郎

批評と紹介

堀江歸一著『歐洲戰時ノ經濟財政』(増井)フォン。
ビュロー著『獨逸外交政策』(松本)津村
秀松著『國民經濟學原論』板倉卓造著『國民政治讀
本』

編輯主任

堀江 歸一
高城 仙次郎

一冊定價 金二十一錢 郵稅金壹錢五厘

一ヶ年前金 金二圓四十錢 郵稅 共

編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

營業に關する用件は發賣元宛

原稿締切期日は發行の前月十日限

大正四年一月廿七日印刷納本
大正四年二月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌
轉載 第九卷第二號
編輯兼發行者 石田 新太郎
東京市赤坂區新坂町五十九番地
印刷者 金子 榮太郎
東京市赤坂區新坂町五丁目四十四番地
印刷所 金子 活版所

東京市麴町區有樂町一丁目一番地
發賣元 粗山書店
振替貯金口座東京二四二七番
電話本局二二三三番

尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會